

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 27年 3 月 13 日

計画の名称	岐阜駅周辺地区における駅前広場ならびに周辺街区の再整備の推進									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成25年度（4年間）			交付対象	岐阜市					
計画の目標	JR岐阜駅と名鉄岐阜駅、周辺街区を結ぶ歩行者用デッキ等の鉄道駅周辺施設整備により、歩行者空間の安全性ならびに快適性を向上させ、地区全体の賑わいの向上を図っていく。あわせて周辺の幹線街路の整備、民間再開発の促進を図っていく。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜駅周辺地区の交流人口の増加（岐阜駅周辺主要地点歩行者交通量を35,250人/日（H22）から35,500人/日（H25）に増加）</li> <li>岐阜駅周辺地区にて開催されるイベントの増加（岐阜駅前広場内でのイベント開催回数20回（H22）から50回（H25）に増加）</li> <li>中心市街地のまちなか居住人口の増加（中心市街地居住人口を11,300人（H22）から11,600人（H25）に増加）</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)	
① 岐阜駅周辺内主要地点歩行者交通量を調査する。							35,250人/日	35,500人/日	35,500人/日	
② 岐阜駅前広場内でのイベント開催回数を調査する。							20回	40回	50回	
③ 中心市街地区内居住人口を調査する。							11,300人	11,600人	11,600人	
全体事業費	合計 (A+B+C)	104百万円	A	104百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成26年度
都市再生整備計画の関連事業として、都市再生整備計画事業評価委員会にて審議	公表の方法
	市ホームページおよび都市建設政策課窓口で公表を告知し、市ホームページおよび窓口での公表を実施。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	都市総	一般	岐阜市	直接	岐阜市	都市再生総合整備事業（西街区デッキ3）	歩行者用デッキ L=35m	岐阜市						104		
小計（道路事業）													104			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		「岐阜スカイウイング37（問屋町西部南街区第一種市街地再開発事業）」の建設と合わせて西街区デッキ（歩行者用デッキ）を整備したことにより、「岐阜駅周辺地区内における歩行者交通量」と「駅前広場におけるイベント開催回数」が増加し、「中心市街地区内居住人口」の減少を抑制した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（岐阜駅周辺内主要地点歩行者交通量）	最終目標値	35,500人/日	目標値と実績値に差が出た要因	西街区デッキの整備により、「岐阜スカイウイング37」とJR岐阜駅や他街区が接続されたことで、「街づくりと一体となった歩行者の回遊動線」と「安全な歩行空間」が充実した。その結果、岐阜駅周辺における歩行者交通量が増加し、目標値を超えた。
		最終実績値	40,304人/日		
	指標②（岐阜駅前広場内でのイベント開催回数）	最終目標値	50回	目標値と実績値に差が出た要因	西街区デッキを「岐阜スカイウイング37」の建設と合わせて整備したことにより、岐阜駅周辺の歩行者交通量が増加したため、集客力のあるイベント空間として駅前広場の魅力が向上した。その結果、岐阜駅前広場を活用したイベント開催回数が増加し、目標値を超えた。
		最終実績値	63回		
	指標③（中心市街地区内居住人口）	最終目標値	11,600人	目標値と実績値に差が出た要因	西街区デッキの整備と「岐阜スカイウイング37」の建設により、「街づくりと一体となった歩行者の回遊動線」と「安全な歩行空間」の充実、また、岐阜駅周辺の賑わいの活性化が図られたが、中心市街地全体の人口減少の影響により、目標を下回った。しかし、平成23年まで続いていた過去と同様の減少傾向が、その後増加に転じており、目標値には至っていないが事業効果は着実に発現していると考えられる。
		最終実績値	11,406人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜駅周辺地区内における市街地再開発事業の進捗に合わせて、段階的に歩行者用デッキの整備を実施していく。</li> </ul>					

計画の名称	岐阜駅周辺地区における駅前広場ならびに周辺街区の再整備の推進		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度 (4年間)	交付対象	岐阜市

